

第8回 <ケア>を考える会・岡山

この会は、2013年5月5日、<ケア>を考える有志が倉敷駅ビルの居酒屋に集まったのが始まりです。それから1年がたちました。第1回が7月13日に開催され、そして、今回は8回目になります。今まで、清水哲原著『最期まで自分らしく生きるために』を読んで各自が心に残った部分を発表しそれをもとに話し合う形で会を進めてきました。本の内容を深めたり、その内容をもとに話が参加者の「現場」体験や、生きることについての思索などに広がっていきました。その本も前回で読み切りました。

今回は、慢性腎臓病の看護に携わる看護師の話題提供を基に、日本透析医学会の提言、日本老年医学会の「立場表明」2012を基にして、慢性腎臓病の高齢者にはどのようなケアが必要かを話し合いたいと思っています。

みなさまのご参加をお待ちしています。

■日時：**2014年5月25日(日)**

14:00~16:00

■会場：川崎医療福祉大学 本館6階
6001 演習室 (定員35名)

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/access/index.php>

※建物の1階(防災センター)から備え付けのスリッパに履き替えてお上がり下さい。
エレベーターで6階へ行きますと、降りた正面に案内標識があります。

駐車場を利用の場合は、福祉大学の職員・学生駐車場(病院とは道をはさんで反対側)をご利用ください。1時間100円です。

■会費：無料 どなたでも参加できます。気軽にご参加ください。

■内容

話題提供：**「高齢慢性腎臓病患者さんの豊かないのちの実現のために
— 透析見合わせを希望した高齢者の事例発表 —」**

提供者：**大賀 由花** (公益社団法人 赤磐医師会病院/透析療法指導看護師)



■呼びかけ人

大賀由花 (赤磐医師会病院/透析療法指導看護師)
河合清志 (社会福祉士),
小林真美
清水昭雄 (管理栄養士)
田中順子 (川崎医療福祉大学リハビリテーション学科/作業療法士)
林道也 (社会福祉士)
平松邦夫 (社会福祉士)
松川絵里 (カフェフィロ代表/大阪大学 CSCD 特任研究員)
山本広美 (社会福祉士)

■参加申し込み・問い合わせ：884michiya@gmail.com 090-5366-1497 (林)

資料準備のため、できれば事前にお申し込みください。(満席となりお断りする場合にのみ連絡いたします。)

■懇親会……終了後に、会場近くの居酒屋で懇親会を開きます(希望者)

※ ホームページもご覧ください ⇒ <http://okayama-care.jimdo.com/>

「<ケア>を考える会・岡山」とは……

▼岡山(倉敷)で、<ケア>について学び考える会を開催します。

<ケア>といえば、「看護」「介護」「支援」「世話」などが先ず頭に浮かびます。超高齢社会を生きる私たちにとって、切実な課題の一つです。そして、<ケア>は、もっと広く捉えることもできます。たとえば広井良典氏は、ケアを「人と人との間の『関係性』」という意味に理解してみたい」と述べ、さらに、個人がコミュニティや自然などとつながっていくような方向でもケアを考えます。「『ケアの哲学』とでもいうようなものが必要」とも言っています。

また、鷺田清一氏は「臨床哲学」の重要テーマの一つに「ケア論」を置き、「ケア」の奥深さをさまざまに説いています。

この会では<ケア>について、身近なところから理念的なものまで、そして、狭い意味から広い意味まで、幅広く深く考えていきます。

▼この会の参加者は、医療・看護・介護・福祉・教育などの現場、または地域や家庭などで<ケア>に関わっている方、大学や学校で<ケア>の教育・研究に携わる方や学んでいる方、さらに、その他、<ケア>に関心や関係のある方などです。

<ケア>に関わる人たちが学び交流することで、明日からの力を得る<場>となることを願います。

▼会では、本を読んだり、または、人の話を聞いたりして、語りあいます。

そして、会の後には、会場近くの居酒屋で懇親会を開きます(希望者)。

学び、語り合い、そして、食べ、飲み、さらに、語り合う。この会は参加者の「つながり」を大切にします。